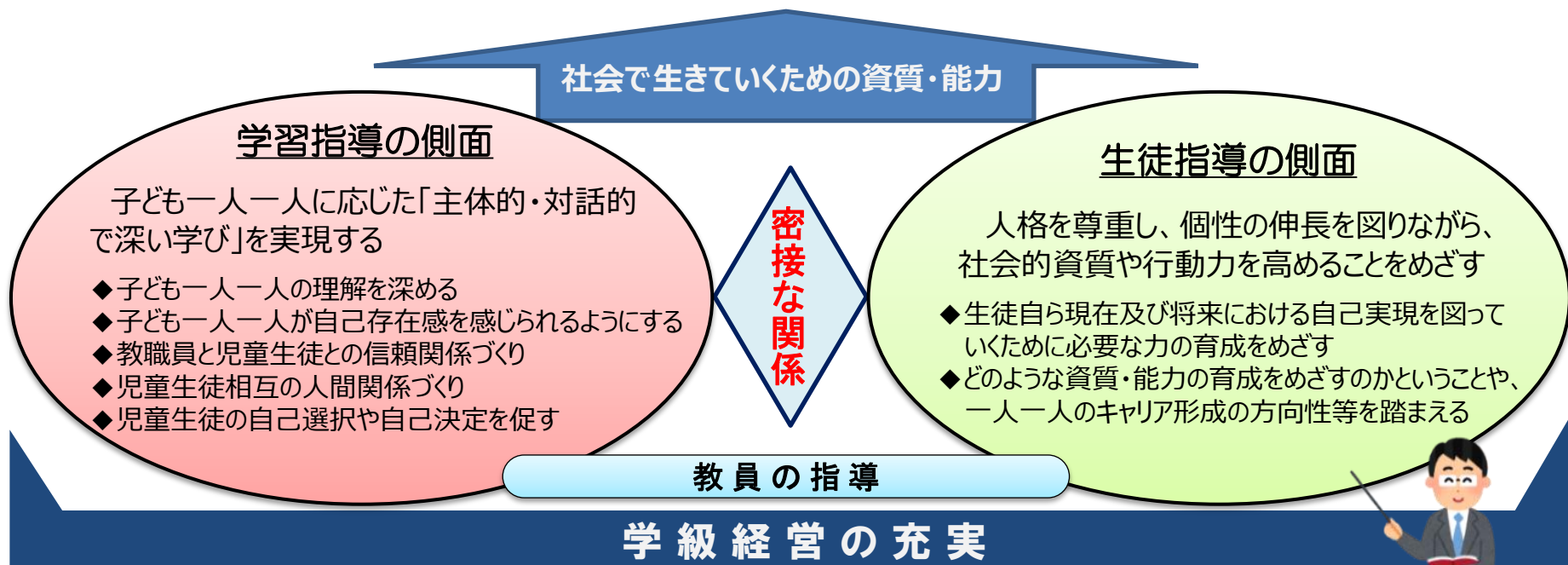


## ② 学習指導と生徒指導

子どもたちにとって学習の場であり生活の場である学校において、教員の指導は、学習指導の側面と生徒指導の側面を持ちます。

### 資質・能力の三つの柱

- ① 何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）、② 理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）、③ **どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）**



学習指導と生徒指導とを分けて考えるのではなく、相互に関連付けながら充実を図ることが重要であり、そのことが学級経営の充実にもつながります。

### 各学校で考えてみましょう

- ▶ 在籍する児童生徒の実態を把握したうえで、どのような資質・能力の育成をめざすのか、その目標を達成するために学習指導と生徒指導をどのように関連させることができるか、考えてみましょう。